

6月29日から的大雨に関する被害状況等について（第6報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（7/3 12:00 時点）

- 梅雨前線は、九州を通過して日本の南にのびている。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで、前線の活動が活発になっている。3日朝には熊本県で線状降水帯が発生するなど、九州では、雷を伴った猛烈な雨や非常に激しい雨が降り大雨になっている所がある。
- 梅雨前線は4日にかけて九州に停滞し、九州では局地的に雷を伴った猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある見込み。特に、引き続き九州では4日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。
- 4日12時までの24時間に予想される雨量は多い所で、九州北部地方では200ミリ、九州南部では300ミリ、奄美地方では100ミリ。5日12時までの24時間に予想される雨量は多い所で、九州北部地方では100～200ミリ、九州南部・奄美地方では100～150ミリ。
- 九州では、これまでの大雨により、地盤が緩んでいる所や増水している河川がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- 梅雨前線は、5日以降も日本付近に停滞するため、今後の気象情報に留意。

2 体制等

- 警戒体制：本省、中国地整、九州地整、中国運輸、九州運輸、気象庁、国総研
- 注意体制：北陸地整、国土地理院

3 一般被害情報（消防庁 HP 7/3 8:30 時点）

- 人的被害
 - ・死者1人（山口1）
 - 住家被害
 - ・全壊2棟（福岡1、大分1）
 - ・半壊1棟（福岡1）
 - ・床上浸水173棟（山口172、熊本県1）
 - ・床下浸水157棟（石川1、広島1、山口152、愛媛2、熊本1）
- ※その他、消防本部等によると、山口県において安否不明者1名、大分県において安否不明者1名との情報あり

4 被害情報等

(1) 河川（7/3 12:00 時点）

10水系 15河川にて氾濫。

○国管理河川（1水系 1河川）

- ・佐波川水系佐波川の霞堤部にて農地浸水あり（既に解消済み）。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

○都道府県管理河川（9水系 14河川）

- ・7県（石川県、長野県、岐阜県、山口県、愛媛県、福岡県、熊本県）において、9水系 14河川で氾濫に伴う浸水被害が発生。このうち、山口県管理の粟野川水系粟野川では、堤防が決壊し、農地が浸水（既に解消済み）。応急復旧を実施中。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

(2)ダム（7/3 12:00 時点）

○洪水調節（事前放流を含む）を実施 91 ダム

91 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 31 ダム

- ・事前放流を実施 17 ダム（うち、利水ダム 8）
- ・すでに事前放流の容量を確保 14 ダム（うち、利水ダム 11）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

(3)砂防

○土砂災害（7/3 13:00 時点）

- ・8件（新潟県 1、石川県 1、岐阜県 1、佐賀県 1、長崎県 1、大分県 3）

人的被害 行方不明者 1名（大分県（由布市）1）

※7/3 の行方不明者の捜索活動は、天候不良により中止。

人家被害 全壊 1戸（大分県 1）

一部損壊 1戸（佐賀県 1）

○土砂災害警戒情報（7/3 12:00 時点）

16 県 126 市町村に発表（新潟県、富山県、石川県、長野県、岐阜県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

※4 県 27 市町村で継続中（福岡県、熊本県、大分県、宮崎県）

(4)道路（7/3 12:00 時点）

○高速道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：2 路線 7 区間

E3 九州道（植木 IC～御船 IC）【4 区間】

E77 九州中央自動車道（嘉島 JCT～益城 TB）【1 区間】

E77 九州中央自動車道（小池高山 IC～山都中島西 IC）【2 区間】

○有料道路

被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし
雨量基準超過等による通行止め：1 路線 2 区間
国道 57 号（熊本県南阿蘇村）雨量基準超過
国道 57 号（熊本県阿蘇市）：雨量基準超過

○補助国道

被災等による通行止め：3 路線 3 区間
国道 325 号（宮崎県高千穂町）：法面崩落
国道 443 号（熊本県益城町）：路面冠水
国道 445 号（熊本県山都町）：橋梁損傷（流出）

○都道府県道等

被災等による通行止め：13 府県 50 区間
長野県 2 区間（法面崩落 1、倒木 1）
岐阜県 1 区間（法面崩落 1）
愛知県 1 区間（土砂崩れ 1）
京都府 1 区間（倒木 1）
岡山県 1 区間（落石 1）
山口県 17 区間（土砂流出 3、倒木 2、路肩崩壊 5、土砂流入 7）
愛媛県 4 区間（土砂崩れ 3、路肩崩壊 1）
福岡県 2 区間（土砂流出 1、倒木 1）
佐賀県 2 区間（路面冠水 2）
熊本県 16 区間（土砂流出 2、路肩崩壊 2、路面冠水 7、土砂崩れ 3、
法面崩落 1、倒木 1）
大分県 1 区間（路面冠水 1）
宮崎県 1 区間（路肩崩壊 1）
鹿児島県 1 区間（倒木 1）

(5) 鉄道（7/3 12:00 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし
【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【被災状況】

J R 西日本

美祢線 橋梁倒壊（1 箇所）、複数個所で土砂流入等（詳細調査中）
山陰線 橋梁傾斜等（1 箇所）、複数個所で土砂流入等（詳細調査中）

J R 九州

久大線 複数個所で土砂流入等（詳細調査中）

平成筑豊鉄道 田川線 土砂流入等（4 箇所）

【運転を見合せている路線】：6事業者 20路線

J R西日本：山陰線、岩徳線、山口線、宇部線、小野田線、美祢線

J R九州：筑肥線、久大線、鹿児島線、豊肥線、三角線、肥薩線、日豊線、日南線、吉都線

錦川鉄道：錦川清流線

平成筑豊鉄道：田川線

西日本鉄道：天神大牟田線、甘木線

南阿蘇鉄道：高森線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

(6) 航空 (7/3 12:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

30日 欠航便 19便 (JAL4便、ANA1便、その他14便)

1日 欠航便 22便 (JAL18便、その他4便)

2日 欠航便 10便 (JAL8便、その他2便)

3日 欠航便6便 (その他6便)

○その他

・大分県由布市での土砂崩れ災害に伴い、飛行自粛ノータムを発行

(7) 自動車 (7/3 12:00 時点)

○運休状況等

・高速バス：運休なし

・路線バス：1事業者1路線運休、一部運休なし

・宅配事業者：大手 2事業者において一部地域で集配遅延

(8) 下水道 (7/3 13:00 時点)

○山口県下関市：マンホールポンプ2基が浸水 (応急対応済)

○熊本県益城町：管路 (汚水) が一部破損 (詳細調査中)

(9) その他 (海岸、公園、都市、海事、港湾、物流、観光、海保) 関係の状況

・被害情報なし

5 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議 (6/29)

(2) 記者会見等

○合同記者会見 (福岡管区气象台、九州地整 6/30 11:00)

○共同取材（気象庁、水管理・国土保全局 6/30 14:00）

(3) ホットライン構築状況

北陸、中部、中国、四国、九州の53市町村とホットラインを構築

（新潟県2、富山県1、石川県2、長野県1、岐阜県4、山口県6、愛媛県7、福岡県4、佐賀県1、熊本県16、大分県3、宮崎県6）

(4) TEC-FORCE 等【本日 36名派遣】

○リエゾン：1県4市町へ10名を派遣中

（美祢市2、久留米市2、大刀洗町2、熊本県庁2、益城町2）

○JETT：5県2市へ14名

○被災状況調査班：12名を派遣中

・山口県内において、中国地整による河川、道路の被災状況調査を実施。

○ヘリコプターによる被害状況調査

・防災ヘリ（おりづる号） 山口県を調査 7/2

(5) 災害対策用機械等の出動

・散水車（給水装置付）1台（中国）を山口県美弥市に派遣。（7/1～現在）

・排水ポンプ車7台（四国）を愛媛県松山市、大須市内に派遣。（7/1～7/2）

・照明車3台（中国・四国）を愛媛県松山市、山口県下関市内に派遣。（7/1～7/2）

6 気象庁の対応

○JETT（気象庁防災対応支援チーム）※TEC-FORCE の内数（7/3 12:00時点）

6/29：12名（岐阜県庁2、島根県庁2、浜田市3、江津市3、香川県庁2）を派遣

6/30：37名（富山県庁2、石川県庁2、岐阜県庁2、和歌山県庁1、鳥取県庁2、島根県庁2、愛媛県庁2、山口県庁6、福岡県庁2、佐賀県庁2、長崎県庁2、熊本県庁2、大分県庁4、宮崎県庁4、鹿児島県庁2）を派遣

7/1：23名（岐阜県庁1、広島県庁2、坂町1、愛媛県庁2、山口県庁3、福岡県庁2、佐賀県庁2、長崎県庁2、熊本県庁2、大分県庁2、宮崎県庁2、鹿児島県庁2）を派遣

7/2：1名（岐阜県庁1）を派遣

7/3：14名（美祢市2*、福岡県庁2、佐賀県庁2、熊本県庁2、由布市2*、宮崎県庁2、鹿児島県庁2*）を派遣 *は予定

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒を呼びかけている。

○気象庁本庁では、6/29に報道機関に対し気象解説を実施。また、6/30には水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施。

○各地の気象台は、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣やホットライン、地方整備局等との合同での大雨に関する記者会見等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を行っている。

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461